



▲多くの屋台と見物客で賑わいをみせる商店街

## 甲佐町初市 5年ぶりの開催 春の伝統行事「第353回甲佐町初市」

3月10日（日）甲佐町商店街を会場に、第353回甲佐町初市が5年ぶりに開催されました。春の訪れを知らせる伝統の行事は、甲佐町商工会が主催。開催日を1日に縮小し開催されたものの、約20店の露店が立ち並びました。シイタケのコマ打ち体験や、商工会女性部によるぜんざいやぶた汁の販売も行われ、商店街は多くの見物客などで賑わいをみせました。



▲九州大会でMFとしてグラウンドを駆け回る馬場選手

## 馬場選手がサッカー九州大会に出場 KYFA 2024 フジパン CUP 第55回九州 U-12サッカー大会

3月2日～3日に鹿児島県で開催された「フジパンCUP 第55回九州 U-12サッカー大会」に馬場美蘭選手（エスペランサ熊本 U-12・有安区）が出場。チームは惜しくも敗戦しましたが1ゴールを挙げる活躍を見せました。馬場選手は「ジュニアで最後の公式戦でした。中学ではもっと上手くなってこれ以上の舞台上がれるよう頑張ります。」と話しました。



▲ゴール地点のびぶれす広場前で記念撮影に応じる後藤選手

## 本町選手が都市対抗駅伝で快走 第50回都市対抗熊日駅伝

2月11日（日）天草市役所前をスタート熊本市のびぶれす広場前をゴールとし、第50回都市対抗熊日駅伝が行われました。上益城郡の代表として本町からは、6名の選手がメンバー入りし、5区後藤悠月選手（甲佐中2年・船津区）と13区藪田航希選手（甲佐中3年・芝原区）の2名が出場。5区の後藤選手は区間賞の走りで順位を2つあげ、チームに貢献しました。



▲設立50年を祝う式典参加者

## 設立から50年の節目を祝う 甲佐町バレーボール協会設立50周年記念式典

2月24日（土）にやな場で甲佐町バレーボール協会（村上洋一会長）設立50周年記念式典が開催されました。同協会は昭和48年10月の設立から50年の長きにわたり、本町のバレーボール競技の振興に寄与。式典には甲佐町長、上益城郡バレーボール協会会長、甲佐町教育長なども出席。歴代会長や10年以上勤めた役員など11名への表彰が行われました。



▲青空の見えるロケーションでテントサウナを楽しむ

## 大自然に囲まれて「ととのう」 緑川流域 PR イベント「Free Tent Sauna」

3月9日（土）COMMON IDOE を会場に、テントサウナイベントが開催されました。イベントは、緑川流域特有の資源を活かした地域振興を目的に、流域自治体などが主催。参加者は、晴天のなかテントサウナで汗を流したほか、バードコール作りやロックバランスング、サウナ好きミュージシャンによる野外ライブ等、緑川流域でのアウトドア体験を楽しみました。



▲田中校長から卒業証書を受け取る卒業生

## 甲佐高校3年生28人の門出 甲佐高等学校令和5年度卒業証書授与式

令和6年3月1日（金）甲佐高校令和5年度卒業証書授与式が執り行われました。今年度は、普通科5人、福祉教養コース10人、ビジネス情報科の13人に田中康一郎校長から卒業証書が手渡されました。コロナ禍で縮小されていた式典も4年ぶりに通常開催され、在校生や来賓に囲まれた卒業生たちは、暖かい雰囲気の中で、3年間を過ごした母校を巣立っていきました。



▲内水対策や流域治水に関する協議・調整を行う対策会議

## 浸水被害軽減などの対策を推進 第4回「緑川竜野川内水対策会議」

1月29日（月）に甲佐町生涯学習センターで、第4回「緑川竜野川内水対策会議」が開催されました。同会議は、国土交通省熊本河川国道事務所および熊本県、甲佐町が、緑川と竜野川の合流点付近などの現状を共有し浸水被害などを軽減するための対策を推進することを目的として設立。今回は、豪雨被害の状況の報告や流域治水に関する協議・調整が行われました。



▲拡張心音計を使って、犬の心音を聴く白旗小の児童

## 動物とふれあい命の大切さを学ぶ 令和5年度「動物を介した命の教室」

3月12日（火）に白旗小学校体育館で、「動物を介した命の教室」が実施されました。同教室は、犬との正しいふれあいを通じて、人と動物が共存できる地域づくりを目指して熊本県動物愛護センターが開催。児童たちは、着ぐるみを使って犬の習性や行動を学習したほか、心音計で犬の心音を聴くことで、人も動物も同じ命ある生き物であることを学びました。